

# (仮称) 磐城平城・城跡公園

## 基本計画を策定

(仮称) 磐城平城・城跡公園とは

磐城平城は、初代磐城平藩主・鳥居忠政が現在のいわき駅周辺に築城しました。戊辰戦争で廃城となりましたが、旧城跡の石垣跡や、内堀跡が現存するほか、本丸跡地は、平成二十七年四月から一般開放イベントなどが継続して行われており、地域の貴重な歴史的資源となっています。

市では、平成二十九年三月に、市中心市街地活性化基本計画を策定し、同計画における主要事業の一つとして本丸跡地を活用した(仮称)磐城平城・城跡公園の整備を位置付けるとともに、同年四月に国の中心市街地活性化広場公園整備事業の採択を受け、事業に着手しました。

同公園基本計画を策定

同公園の整備に向け、跡地の公有地化をはじめ、平成二十九年八月に公表した「(仮称)磐城平城・城跡公園整備構想図」に基づく具体的な整備計画の検討を進め、本年十月に「(仮称)磐城平城・城跡公園基本計画」を策定しました。

同計画で定めた公園整備の基本方針に基づき、共に創り・育て・伝える新しい以和貴の「本丸」を基本テーマに、いわきを象徴する場所、歴史を語り継ぐ場所、いつでも誰でも楽しめる場所となるよう、歴史・文化拠点、緑の拠点、地域のコミュニティ拠点としての機能を備えた公園を整備します。加えて、公園の整備・管理・運営において、

同公園の整備概要

市民の皆さんが積極的に参加することにより、継続的なにぎわいの創出を目指していきます。

同公園内に体験学習施設や白蛇堀などを整備し、地域コミュニティの場となる文化交流ゾーン、いわきの歴史に思いをはせる場となる歴史伝承ゾーン、憩いと安らぎを得られる場となる自然散策ゾーンの三つの空間を創出します。また、江戸期の城郭イメージを基本とし、和風を基調とした重厚感のある素朴な意匠をデザインコンセプトとしました。

今後は、工事の実施に向けた詳細設計を進めるなど、令和四年度からの供用開始を目標に計画的に整備を進めていきます。

### ○公園整備のポイント



(仮称) 磐城平城・城跡公園整備イメージ図

中核施設となる体験学習施設には、地域の歴史を伝承する場、日本伝統文化の活動の場、市民や来訪者の交流の場などの機能を設け、来園意欲・公園の魅力向上を図ります。



体験学習施設イメージ図

○お問い合わせ  
公園緑地課事業係  
☎22・7518



○お問い合わせ  
文化振興課文化財係  
☎22-7546

いわきの歴史を知ろう!

# 磐城平藩主・幕府老中 安藤信正生誕200年

磐城平藩主となった  
安藤信正

安藤信正は文政二(一八一九)年十一月二十五日、江戸蠣殻町(現在の東京都中央区日本橋)で磐城平藩主・安藤信由の長男として生まれました。

弘化四(一八四七)年、父・信由の死去によって藩主となった信正は、藩政の改革に着手しました。藩財政を立て直すため、出費削減や、家臣の役職の合理化による人員整理などの思い切った策を講じ、藩主となった当初七十万両あった借金が、万延元(一八六〇)年には四十万両にまで減りました。

嘉永元(一八四八)年一月、藩主となった翌年、信正は江戸幕府から大名などが将軍に謁見する際に取り次ぎをする奏者番を命じられ、その三年後には、寺社奉行となりました。信正が幕府の政治に加わった時期は、鎖国を続けてきた日本が、世界の国々から開国を迫られている時代でした。幕府がアメリカをはじめ、

老中として活躍

イギリス・ロシア・オランダなどとも和親条約を結んだことで、世論は騒然となり、開国論・攘夷論が唱えられました。安政五(一八五八)年四月、彦根藩主・井伊直弼が大老になると、日米修好通商条約の調印や攘夷派の弾圧に乗り出しました。この頃、信正は若年寄となり、万延元年一月十五日に老中となって外国事務の担当を命じられました。

大老・井伊直弼が桜田門外で水戸浪士らに暗殺されたのは、万延元年三月三日で、信正は事態の収束を図るとともに、井伊直弼が公武合体策を進めていたのを受け、将軍・徳川家茂の妻に孝明天皇の妹・和宮の降嫁を実現させました。信正が老中職にあった時期は、外国公使との交渉は絶え間なく続き、アメリカやヨーロッパへの使節団の派遣、諸外国との条約締結、小笠原諸島の領有問題、ロシアとの樺太国境線決定交渉など、多くの課題に取り

組みました。

文久二(一八六二)年一月十五日、坂下門に向かう信正の行列が、待ち受けていた水戸浪士など六人によって襲撃され、信正は傷を負い、療養することになりました。療養中も外国公使との対応に当たっていました。同年四月に老中の座を去りました。

その後、謹慎を申し渡され、長男・信民に藩主の座を譲りました。信正の謹慎が解けたのは、慶応二(一八六六)年十一月で、その間に信民は亡くなり、養子に迎えた信勇が藩主となりました。

慶応四(一八六八)年三月、江戸を離れて領地磐城平に帰った信正でしたが、戊辰戦争が始まりました。旧幕府軍側について磐城平藩は、新政府軍による攻撃を受け、最後は磐城平城に火を放ち敗走することとなりました。

晩年の信正は、夫人とともに東京で余生を過ごし、明治四(一八七一)年十月八日、五十三歳でその一生を終えました。

開催

### 安藤信正公生誕200年記念事業 記念シンポジウム

- ▶とき 11月16日(出) 13時~16時
- ▶ところ 市文化センター
- ▶内容 磐城高校史学部による研究発表、安藤信正の外交交渉についての基調講演、パネルディスカッション
- ▶定員 450人(当日先着順)

### 市公式フェイスブック新企画「安藤信正生誕200年」を連載

市公式フェイスブックでは安藤信正生誕200年と題し、幕末の日本に影響を与えた磐城平藩主・安藤信正について連載しています。ぜひご覧ください。



来年1月12日(日)

# 成人式へようこそ

来年の新成人に該当する方は、平成十一年四月二日から平成十二年四月一日の間に生まれた方です。当日は式典のほか、地区ごとに記念行事を開催します。

▼とき 来年1月12日(日) 11時30分～(受け付け開始は10時30分)、川前地区は11時～

▼ところ 市内13会場(下表参照)

○案内 本市に住民登録がある方



華やかな笑顔の新成人(平成31年成人式)

には、今月下旬にハガキで案内します。学生などで本市に住民登録がない方も出席できます。また、ハガキで案内された以外の地区に出席することも可能です。いずれも出席を希望する地区の担当公民館へ、十二月二日(月)以降に申し込みしてください。

車椅子を利用するなど、何らかの支援を必要とする場合は、事前に担当公民館へ連絡してください。



地区	会場	担当公民館
平	アリオス	中央公民館 ☎22-5431
小名浜	パレスいわや	小名浜公民館 ☎54-1890
勿来	八幡台やまたまや	植田公民館 ☎63-3467
常磐	ホテルハイアーンズ・ラピータ	常磐公民館 ☎43-2305
内郷	クレールコート	内郷公民館 ☎26-2974
四倉	いわき海浜自然の家	四倉公民館 ☎32-2920
遠野	金澤翔子美術館	上遠野公民館 ☎89-2059
小川	草野心平記念文学館	小川公民館 ☎83-2168
好間	好間公民館	好間公民館 ☎36-2050
三和	三和ふれあい館	三和公民館 ☎86-2204
田人	田人ふれあい館	田人公民館 ☎69-2226
川前	川前公民館	川前公民館 ☎84-2003
久之浜・大久	久之浜・大久ふれあい館	久之浜公民館 ☎82-2165

## 地名の中の『いわき』

工業団地づくりと字名

商港・小名浜港は昭和三十年代以降、高度経済成長により海外との貿易が盛んになるにつれて、港湾の充実が重要課題とされていきました。昭和四十年代以降、埠頭や工業地帯を形成するため、海岸は東から西に向かって埋め立てられ、藤原川右岸では石油コンビナート構想の実現が急務となりました。

当時、藤原川右岸では小規模ながら剣浜漁港が形成されていたため、人々は半



小名浜臨海工業団地を北西上空から見る [平成時代初期 いわき市撮影]

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

農半漁を営んでいました。

県は土地の確保と並行して漁業関係者と交渉し、その代替地を確保するとともに、昭和四十五(一九七〇)年、剣浜の漁業権を買い上げ、昭和五十三(一九七八)年に全ての工業団地用地を買収しました。この際に、元々漁業を営んでいた住民たちが暮らしていた小さな区域の字名の「大剣」は、三百八十六ヘクタールだった小名浜臨海工業団地を含む大きな区域に拡大されました。その一方で、七つの字名が消失しました。

これと似た事例として、昭和五十九(一九八四)年に市議会の議決を得て名付けられた大字名には「好間工業団地」があります。この大字は、平地区と好間地区にまたがる三百四十二ヘクタールの好間中核工業団地で、小さな区域の字名が大字の「好間工業団地」に昇格して名付けられました。山田町内に誕生した山田インダストリアルパークの「南台」も、同様の位置付けとなりました。(いわき地域学會 小宅幸一) ※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎22・7503)へご連絡ください。

### 遠野地区に地域おこし協力隊を配置

地域振興課中山間・沿岸地域係 ☎22-7415

10月1日から遠野地区に、新たに地域おこし協力隊を配置しました。

地域おこし協力隊に委嘱されたギャラハーシルヴィア エティさんは、和紙の原料作りや紙すきの技術習得、国内外へ向けた情報発信などの活動を行っていきます。



ギャラハーシルヴィア エティさん

海外にも「遠野和紙」の魅力を発信したいです。日本語も話せますので、地域の皆さん、よろしくをお願いします。

### 緑のカーテンコンクール受賞作品を決定

環境企画課環境企画係 ☎22-7528

地球温暖化対策の一環として、一般家庭や事業所などにおける「緑のカーテン」の普及を図るため、同コンクールを実施しています。本年度は、常磐開発株式会社・常光サービス株式会社・トーホク装美株式会社指定管理業務共同企業体の作品が大賞を受賞しました。



アサガオを利用した緑のカーテン

前述の銅像は、磐城平藩主の安藤信正公です。安藤公は幕末の老中として、公武合体策を推進するとともに、国内に攘夷論が高揚する中、外交にも手腕を発揮しましたが、坂下門外の変により重傷を負い、引退しました。安藤公は日本史においても重要な人物であり、本市ゆかりの偉人の一人と言えます。

今夏のいわき七夕まつりには「磐城平藩主安藤公ご生誕200年記念」の冠が付けられ、特製の笹飾りがお目見えしました。また、安藤公にまつわる講演会も多数開かれており、市としても今月16日に、市文化センターで記念シンポジウムを開催します。

磐城平城は歴史上、貴重なふるさとの財産です。今後、市民の皆さんに愛される本丸跡地となるよう、公園化を進めてまいります。

### こんにちは市長室から ④8



「安藤信正公 生誕200年」

いわき市長 清水 敏 男

「市内の松ヶ岡公園に毅然と立つ紋付はかま姿の像が誰か、皆さん知っていますか？」

年度当初の市の新規採用職員研修において、上記の質問を投げ掛けたところ、残念ながら知る人は数人しかいませんでした。

本市は今から53年前に14の市町村が大同合併して誕生した故に、新たなまちづくりを優先するあまり、それ以前の歴史をなぞりにしてきた感があります。